

第25回全国高等学校漫画選手権大会（まんが甲子園）事業実施報告書

《Ⅰ 目的》

多くの著名な漫画家を輩出している本県において、まんがを貴重な文化資源として位置づけた全国に情報発信できるイベントを行い、「まんが王国・土佐」を全国にアピールするとともに、地域間・世代間の交流と高校生の文化活動を支援する。

《Ⅱ 事業実績》

1 第25回全国高等学校漫画選手権大会（まんが甲子園）

(1) 実施時期

予選審査会：平成28年6月22日（水）

本選大会：平成28年8月6日（土）及び同月7日（日）

(2) 実施場所

メイン会場：高知市文化プラザかるぽーと（高知市九反田2番1号）

敗者復活戦会場：高知市中心商店街 ひろめ市場（高知市帯屋町二丁目3-1）

(3) 事業内容

① 第25回全国高等学校漫画選手権大会（まんが甲子園）

全国の高等学校から予選テーマに沿ったまんが作品を募集し、予選審査会で選抜された31校が本選大会に参加し（1校1チーム、生徒3名～5名、引率者1名）第一次競技・敗者復活戦・決勝戦を行い、最優秀校等を決定。

併せて、韓国及び台湾からも予選テーマに沿ったまんが作品を募集し、それぞれ1校ずつ第一次競技に参加し、審査員の先生から特別講評をいただいた。

高知市中心商店街では、敗者復活戦作品の一般投票と審査員による審査を実施し、5校が決勝戦へ復活。敗れた5校は敗者復活戦会場で審査員からの作品講評をいただく。

また、出版社から派遣されたスカウトマンの目に留まった生徒は、プロの漫画家を目指した指導を受けることができるスカウト制度を実施。

○大会の内容

★予選テーマ 2つのテーマから1つを選択：「情報流出」「〇〇ロス」

4月8日（金）記者発表

★全国公募 全国約5,800校に募集資料を郵送、ホームページにて募集告知

締切：6月9日（木）※当日消印有効

★予選審査会 6月22日（水）高知城ホール（終了後、ホームページに結果掲載）

44都道府県319校の応募から本選出場31校を選出

韓国2校、台湾3校の応募、それぞれ審査を行い本選出場各1校を選出

★本選大会 33校150名（うち海外2校10名）

第一次競技【8月6日（土）】

15校を選抜：テーマ「♪」

敗者復活戦【8月6日（土）～8月7日（日）】

5校を選抜：テーマ「18歳〇〇権」

決勝戦【8月7日(日)】

20校の中から最優秀賞等の受賞校を決定：テーマ「新元素発見！」

★審査員 (敬称略)

予選審査会

牧野圭一(公益社団法人日本漫画家協会理事)、くさかり樹(漫画家)、
Mo o. 念平(漫画家)、ひのもともめぐる(漫画家、大会OG)
さかもと清敏(高知漫画集団代表)、
岩神義宏(高知漫画グループくじらの会事務局長)

本選大会

牧野圭一、くさかり樹、Mo o. 念平、ひのもともめぐる、
さかもと清敏、岩神義宏
里中満智子(漫画家：ゲスト審査員)、
華夜(漫画家：ゲスト審査員)
しろ(漫画家：ゲスト審査員)

★永世名誉審査委員長(敬称略) やなせたかし

★賞

- ・最優秀賞
静岡県立伊東高等学校城ヶ崎分校(静岡県)
- ・第2位
愛知県立豊明高等学校(愛知県)
- ・第3位
宇都宮文星女子高等学校(栃木県)
- ・審査委員長賞
近畿大学附属和歌山高等学校(和歌山県)
- ・まんが王国・土佐推進協議会会長賞
愛媛県立松山東高等学校(愛媛県)
- ・三菱電機賞
明德義塾高等学校(高知県)
- ・全日空賞
青森県立弘前実業高等学校(青森県)
- ・高知県市町村振興協会賞
愛媛県立西条高等学校(愛媛県)
- ・高知県高等学校文化連盟会長賞
岡山県立備前緑陽高等学校(岡山県)

*特別賞

- ・帯屋町賞
高知県立高知南高等学校(高知県)
(敗者復活戦の一般投票結果で、獲得票数1位校が受賞対象。)
- ・やなせたかし賞
学校法人呉武田学園武田高等学校(広島県)
(第一次競技作品、敗者復活戦作品、決勝戦作品の中から、公益社団法人日本漫画家協会四国支部支部長おかもとあつし氏が選出)

*その他協賛賞

- ・eBookJapan 賞
京都文教高等学校

(海外校を含む第一次競技作品のうち、審査員からの評価が最も高かった学校が受賞対象。)

② PRコーナー

- ・第25回まんが甲子園応募作品展示コーナー
- ・まんが甲子園歴代優秀作品及び審査員寄せ書きパネル展示コーナー
- ・地元高校生PRコーナー（原画等の展示、漫研アトリエ）
- ・全国まんけん図書館
- ・出版社コーナー（出張編集部）
- ・日本漫画家協会コーナー（日本漫画家協会賞受賞者の作品展示）
- ・地元アマチュア漫画家PRコーナー
- ・ヴィクトリーフラワー「グロリオサ」展示コーナー
- ・落書きコーナー
- ・「ポップンQ」物販コーナー
- ・協賛、協力企業PRコーナー
- ・大学、専門学校PRコーナー
- ・海洋堂ホビー館四万十、かつば館コーナー
- ・まんが王国とっとりコーナー
- ・まんが王国・土佐PRコーナー（Mo o. 念平先生巨大絵展示）

③ イベント

- ・まんが甲子園歴代最優秀作品モニュメント移設除幕式（開会式の中で実施）
- ・黒潮マンガ大賞授賞式（高知新聞社主催）
- ・声優トークショー（出演：置鮎龍太郎さん、小西克幸さん）
- ・Mo o. 念平の大笑いまんが道場
- ・アナログライブペインティング（出演：粗茶先生）
- ・デジタルライブドローイング（出演：賀茂川先生）
- ・アナログ作画セミナー（講師：粗茶先生）
- ・デジタル作画セミナー（講師：ねもと章子先生）
- ・窪之内英策先生の作品講評会

④ 本選出場校へのまんが関連施設ツアーの開催

遠方コースと近郊コースの2コースを用意。

- ・遠方コース（18校108名）
海洋堂ホビー館四万十、かつば館を巡り、須崎市にてかつおの薫焼き体験（昼食）。
- ・近郊コース（3校19名）
桂浜、若宮八幡宮、高知県立歴史民俗資料館を巡る。

⑤ 出張編集部・スカウトの実施

参加出版社：小学館、講談社、秋田書店、KADOKAWA、少年画報社、スクウェア・エニックス

- ・上記6社から16編集部、2合同編集部が会場内に出張編集部を設置し、一般来場者等

- の漫画原稿（一部イラストも）の持ち込みを受け付けた。
- ・本選大会出場生徒から、13校22名がスカウトされた。

⑥ ニコニコ生放送によるネット生配信

大会2日間の会期中、ニコニコ生放送を実施。

- ・1日目 来場者数39,564人、コメント数8,989
アンケートでは約70%がとても良かった、良かったと回答。
- ・2日目 来場者数45,685人、コメント数10,896
アンケートでは97.5%がとても良かった、良かったと回答。

⑦ その他

- ・4、5月にPRキャラバンとして、前回応募のなかった山梨県と徳島県、そして新たに募集を行う台湾の高校、高等学校文化連盟、新聞社を訪問し、応募の呼びかけ、認知度の向上を図った。
今大会には、山梨県から2校、徳島県から3校、台湾から3校の応募があった。
- ・7月から8月にかけて、県庁や会場周辺はもとより高知市中心商店街や高知駅、高知空港・バスターミナルなどにのぼりを設置し、県内でのさらなる認知度の向上と会場への誘客を図った。

2. その他

(1) 情報発信

①WEB

- ・まんが王国・土佐ポータルサイト
- ・漫画投稿サイト「DreamTribe」で予選応募全作品を公開
- ・予選審査会の結果発表及び審査員講評を「Ustream」で生配信し、その後「YouTube」で公開
- ・ニコニコ生放送で本選大会を生配信

②テレビ・紙媒体

- ・高知家まるごと海外情報発信事業によるテレビ番組を国内及び海外で放送（放送日未定）
- ・韓国及び台湾からメディアを招聘し、大会取材を行ってもらい、各国で発信
- ・県内のテレビ各社が随時放送
- ・各新聞、本選出場校の地元紙等に掲載
- ・本選出場校、入賞校の地元テレビ局、新聞社等の県外メディアでも取り上げられた

(2) 地元高校生の協力

- ・約250名の県内高校生が運営スタッフとして参加

(3) 公益社団法人企業メセナ協議会の助成対象活動に認定

※認定を受けた芸術文化活動に対して、企業等が同協議会を經由して寄附を行うと、税制上の優遇措置を受けることができるもの。

(4) まんが甲子園 作品パネル展示

まんが甲子園のPR と地域振興につなげるため作品展示を実施。

- ・ニコニコ超会議 2016：千葉県幕張市（4月）
- ・北九州市漫画ミュージアム（4月）
- ・伊野商業高等学校リセ企画バンダナデザイン投票：高知市（6月）
- ・ワンダーフェスティバル 2016 夏、2017 冬：千葉県幕張市（7月・2月）
- ・イオンモール高知：高知市（6月～10月）
- ・いの町紙の博物館：いの町（9月）
- ・まんさいーこうちまんがフェスティバル 2016：高知市（10月）
- ・国際漫画フェスティバル・インさいたま 2016：埼玉（11月）